

レポート

九州新幹線熊本駅舎をカメラレポート

開業秒読みスタート

全貌を現し始めた
コンコース（中央ホール）



九州新幹線の改札口

九州新幹線熊本駅舎内



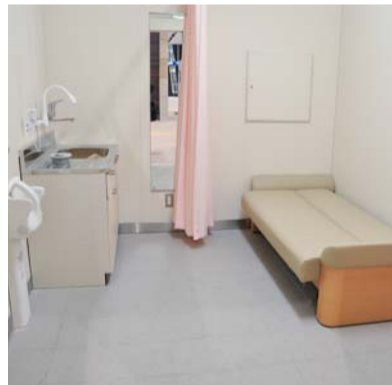
▲1階の南側部分の商業施設「フレスト熊本」の入り口。奥では入居テナントが最後の仕上げ工事に



▲開業を前にシートで包まれている切符販売機（左側）。右側には切符売り場があり、その右側は在来線につながる連絡通路がある



▲広々としたコンコース（中央ホール）



▲1階の改札口近くにある多目的室



▲乗り場には危険防止のため柵とホームドアが設置



▲新幹線のホームからは駅西側の風景が見られるのも特徴のひとつ



▲駅西口広場は最後の整備が進行中



▶コンコースにある総合案内板は音声案内、点字案内も



▶エレベーターも設置してある



▶コンコースから2階の新幹線ホームへのエスカレーター

九州新幹線の全線開業を3月12日に控え、新幹線熊本駅舎がほぼ完成、駅舎内も先に完成したホームに加えコンコースも全貌を現し始めた。2月に入り、新幹線試乗会も実施中だが、駅舎内の商業施設の各テナントも急ピッチで工事が進むほか、駅舎外でも最後の整備工事が進んでいる。

新幹線熊本駅舎の1階のコンコースは天井部分に県産のスギ板が使用され、壁や柱には天草地方産の「下浦石」が用いられている。切符販売機・自動改札口、みどりの窓口、待合室や授乳、幼児の世話などができる多目的室も改札口近くに設けられている。新幹線乗り場の案内表示もわかりやすくしてあり、在来線との地下連絡通路も出来上り、開業に合わせて仕切りが取り外されるのを待つばかり。1階の南側部分には駅舎商業施設「フレスト熊本」がオープン控え、現在、最後の仕上げの内装工事が進行中。「フレスト熊本」には熊本最大級の土産品売場やレストランなど28店が入店する。

新幹線開業記念行事

坪井川で3月12日から

観光船が運航

「第7回熊本城坪井川大園遊会」の目玉として

九州新幹線全線開業に合わせてさまざまなイベントが予定されているが、「第7回熊本城坪井川大園遊会」もその一つ。その中でも「坪井川浪漫舟めぐり」と題して坪井川観光船も3月12日スタートする。

これは「熊本城400年と熊本ルネッサンス」県民運動本部の「坪井川を活かす会」（岩田英志部会長）が企画運営するもので、3月12日から5月8日までの土曜、日曜、祝日と5月のゴールデンウィークまでの合計17日間、熊本城の脇を流れる坪井川の一部を利用して観光客を中心に県民にも乗船してもらい、熊本城の「武者返し」と呼ばれる石垣などを楽しむ企画となる。

コースは「長堀前和船周遊コース」と名付けられており、受付と乗船（下船）場所は、行幸橋に近い熊本城長堀前となっている。観光コースは熊本城長堀前から桜橋の約500mを約20分で往復する。3月は8人乗り和船4隻、4月と5月は13人乗りの屋形船1隻と8人乗りの和船1隻を揃える予定。時間は午前10時から午後4時までで、予約は不要で乗船料も無料。なお、雨天の場合は中止となる。

